

平成25年度  
網走市における景気動向調査  
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

# 目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種 D.I.値の状況	10
4-3	業種別 D.I.値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	消費税の引き上げが経営に与える影響	15
第8章	業界の景気動向等その他ご意見	16

# 第1章 調査要領

## 1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成25年10月8日（火）～平成25年10月29日（火）
- (2) 調査期間：平成25年7月～9月期実績、及び、平成25年10月～12月期見通し

## 1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（25件）、製造業（23件）、卸売業（21件）、小売業（33件）、サービス業（33件）の5業種135社を調査対象とした。

## 1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

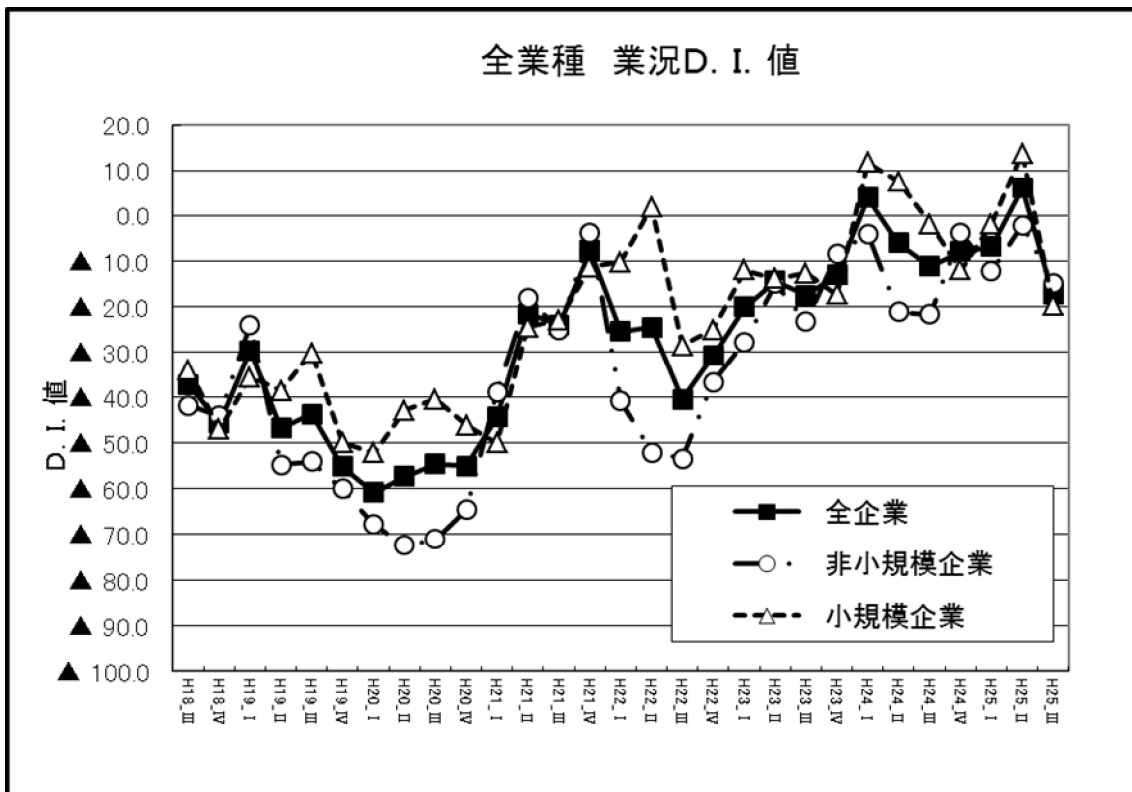
## 1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		25件	17件 (非小規模企業：8件) (小規模企業：9件)	68.0%
製造業		23件	13件 (非小規模企業：6件) (小規模企業：7件)	56.5%
卸売業		21件	20件 (非小規模企業：10件) (小規模企業：10件)	95.2%
小売業		33件	24件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：15件)	72.7%
サービス業		33件	24件 (非小規模企業：14件) (小規模企業：10件)	72.7%
合計		135件	98件	72.6%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示す。

## 第2章 概況

### 2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成25年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の業況は、前年同期比で「好転企業」29.6%、「悪化企業」23.5%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は6.1と前期に比べ13.0ポイント改善しました。小売業を除く4業種がプラスとなり、全体では平成24年度第Ⅰ四半期以来のプラスとなりました。非小規模企業のD.I.値は▲2.1と改善傾向を示し、小規模企業においては13.8と大きく改善しました。

建設業はD.I.値41.1と前期比7.8ポイント増となり依然高水準を維持しております。製造業はD.I.値を40.8ポイント上げ23.1、卸売業はD.I.値を31.3ポイント上げ5.0、サービス業については、D.I.値を8.3ポイント上げ8.3となりました。一方で小売業は8.4ポイント下げ▲29.2と一層厳しい状況におかれています。この結果から、小売業以外の業種では大幅な改善が見られたものの、依然個人消費に結びついていないことが伺えます。

今期と比べた次期<10月～12月>の見通しは「好転企業」が15.3%、「悪化企業」が32.7%となりD.I.値▲17.4と、今期の反動で大きく落ち込む見通しを立てています。

特に、前期好調だった建設業は公共工事等が一段落したことからマイナスを予想。また、サービス業は閑散期に入ることから観光関連業を中心に大きく落ち込むとしています。他の業種においてもほぼ同様の予想を立てておりますが、小売業では季節商品の消費が出る時期を迎えることからマイナスではあるものの改善傾向を示しています。

経営上の問題点としては「人材不足」「得意先の減少」「同業者間の競争」が上位を占めました。建設業では「人材不足」がさらに強まっており、このことは他の業種においても同様に伺えます。製造業、サービス業においては原材料のコスト上昇や電気料金等の値上げによる「諸経費増」が課題と位置づける企業が多くを占めました。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	44.4%	22.2%	22.2	↗
非小規模企業	50.0%	25.0%	25.0	↗
全 体	47.1%	23.5%	23.6	↗

■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↗
非小規模企業	25.0%	25.0%	0.0	→
全 体	29.4%	17.6%	11.8	↗

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	22.2%	44.4%	▲22.2	↘
	非小規模企業	25.0%	12.5%	12.5	↗
	全 体	23.5%	29.4%	▲5.9	↘
完成工事高	小規模企業	22.2%	44.4%	▲22.2	↘
	非小規模企業	25.0%	12.5%	12.5	↗
	全 体	23.5%	29.4%	▲5.9	↘
資金繰り	小規模企業	0.0%	22.2%	▲22.2	↘
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全 体	0.0%	11.8%	▲11.8	↘

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	28.6%	28.6%	0.0	→
非小規模企業	66.7%	0.0%	66.7	↗
全 体	46.2%	15.4%	30.8	↗

■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	14.3%	57.1%	▲42.8	↘
非小規模企業	16.7%	0.0%	16.7	↗
全 体	15.4%	30.8%	▲15.4	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	0.0%	28.6%	▲28.6	↘
	非小規模企業	33.3%	0.0%	33.3	↗
	全 体	15.4%	15.4%	0.0	→
生 産 高	小規模企業	0.0%	28.6%	▲28.6	↘
	非小規模企業	50.0%	0.0%	50.0	↗
	全 体	23.1%	15.4%	7.7	↗
資金繰り	小規模企業	14.3%	14.3%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全 体	7.7%	7.7%	0.0	→

## (3) 卸売業

## ■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	30.0%	20.0%	10.0	↗
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
全 体	25.0%	30.0%	▲5.0	↘

## ■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	20.0%	10.0%	10.0	↗
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
全 体	20.0%	25.0%	▲5.0	↘

## ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	10.0%	30.0%	▲20.0	↘
	非小規模企業	10.0%	40.0%	▲30.0	↘
	全 体	10.0%	35.0%	▲25.0	↘
売 上 高	小規模企業	10.0%	50.0%	▲40.0	↘
	非小規模企業	10.0%	50.0%	▲40.0	↘
	全 体	10.0%	50.0%	▲40.0	↘
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	10.0%	▲10.0	↘
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全 体	0.0%	5.0%	▲5.0	↘

## (4) 小売業

## ■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	13.5%	46.7%	▲33.4	↘
非小規模企業	33.3%	33.3%	0.0	→
全 体	20.8%	41.7%	▲20.9	↘

## ■採 算

規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	6.7%	46.7%	▲40.0	↘
非小規模企業	22.2%	22.2%	0.0	→
全 体	12.5%	37.5%	▲25.0	↘

## ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	20.0%	40.0%	▲20.0	↘
	非小規模企業	22.2%	33.3%	▲11.1	↘
	全 体	20.8%	37.5%	▲16.7	↘
売 上 高	小規模企業	26.7%	40.0%	▲13.3	↘
	非小規模企業	22.2%	33.3%	▲11.1	↘
	全 体	25.0%	37.5%	▲12.5	↘
資 金 繰 り	小規模企業	0.0%	20.0%	▲20.0	↘
	非小規模企業	0.0%	11.1%	▲11.1	↘
	全 体	0.0%	16.7%	▲16.7	↘

## (5) サービス業

## ■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	50.0%	10.0%	40.0	↗
非小規模企業	35.7%	50.0%	▲14.3	↘
全 体	41.7%	33.3%	8.4	↗

## ■採 算

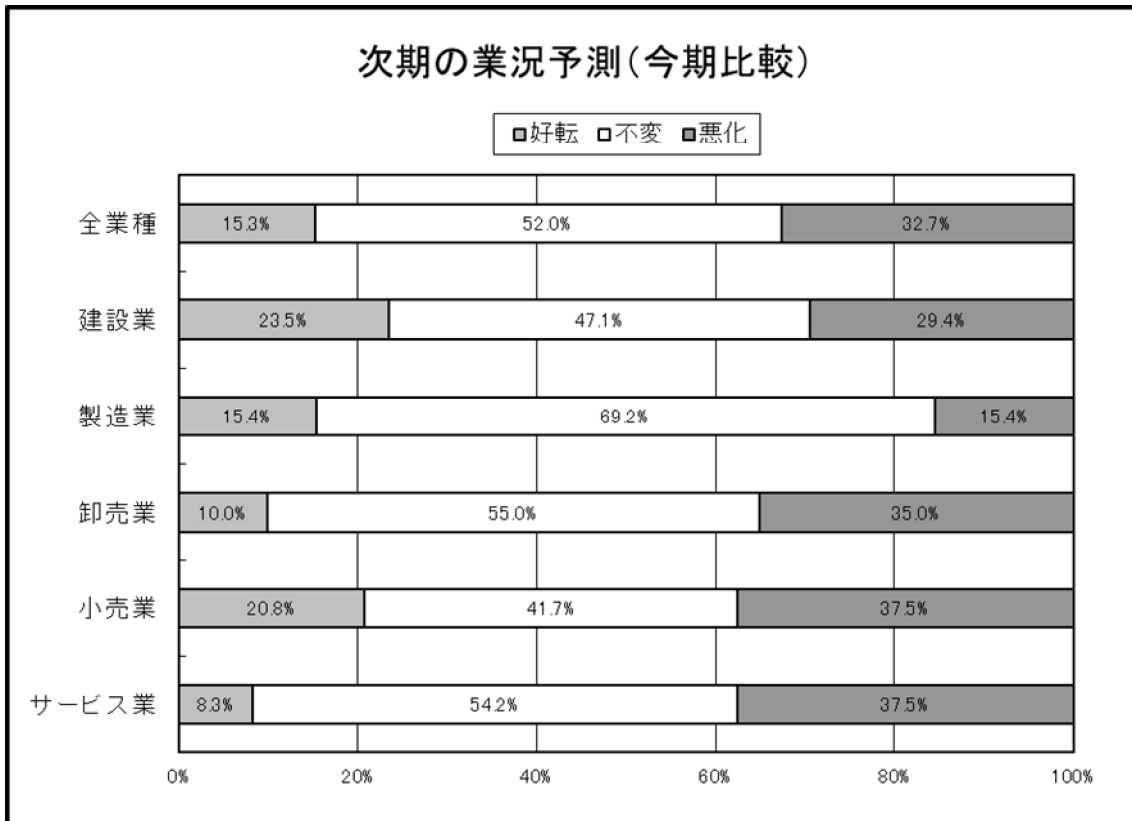
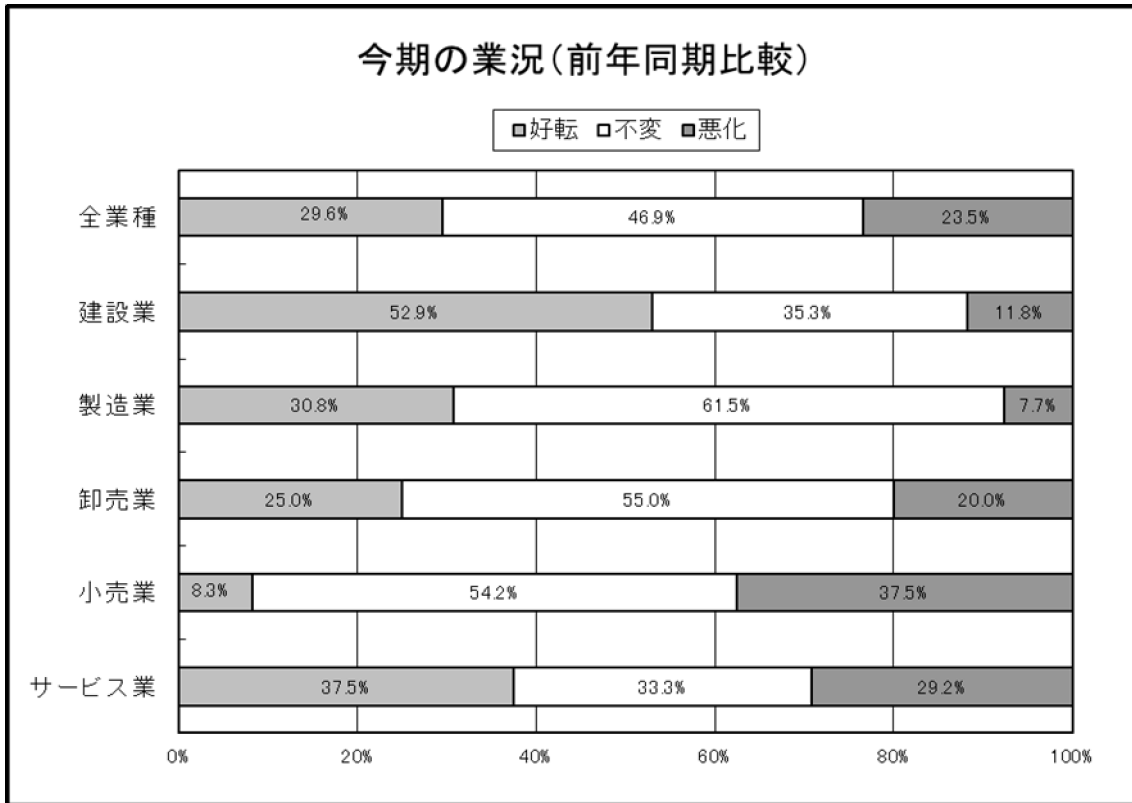
規 模	好 転	悪 化	D.I.値	
小規模企業	40.0%	10.0%	30.0	↗
非小規模企業	21.4%	28.6%	▲7.2	↘
全 体	29.2%	20.8%	8.4	↗

## ■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業 況	小規模企業	10.0%	20.0%	▲10.0	↘
	非小規模企業	7.1%	50.0%	▲42.9	↘
	全 体	8.3%	37.5%	▲29.2	↘
売 上 高	小規模企業	10.0%	20.0%	▲10.0	↘
	非小規模企業	14.3%	50.0%	▲35.7	↘
	全 体	12.5%	37.5%	▲25.0	↘
資 金 繰 り	小規模企業	10.0%	0.0%	10.0	↗
	非小規模企業	7.1%	35.7%	▲28.6	↘
	全 体	8.3%	20.8%	▲12.5	↘

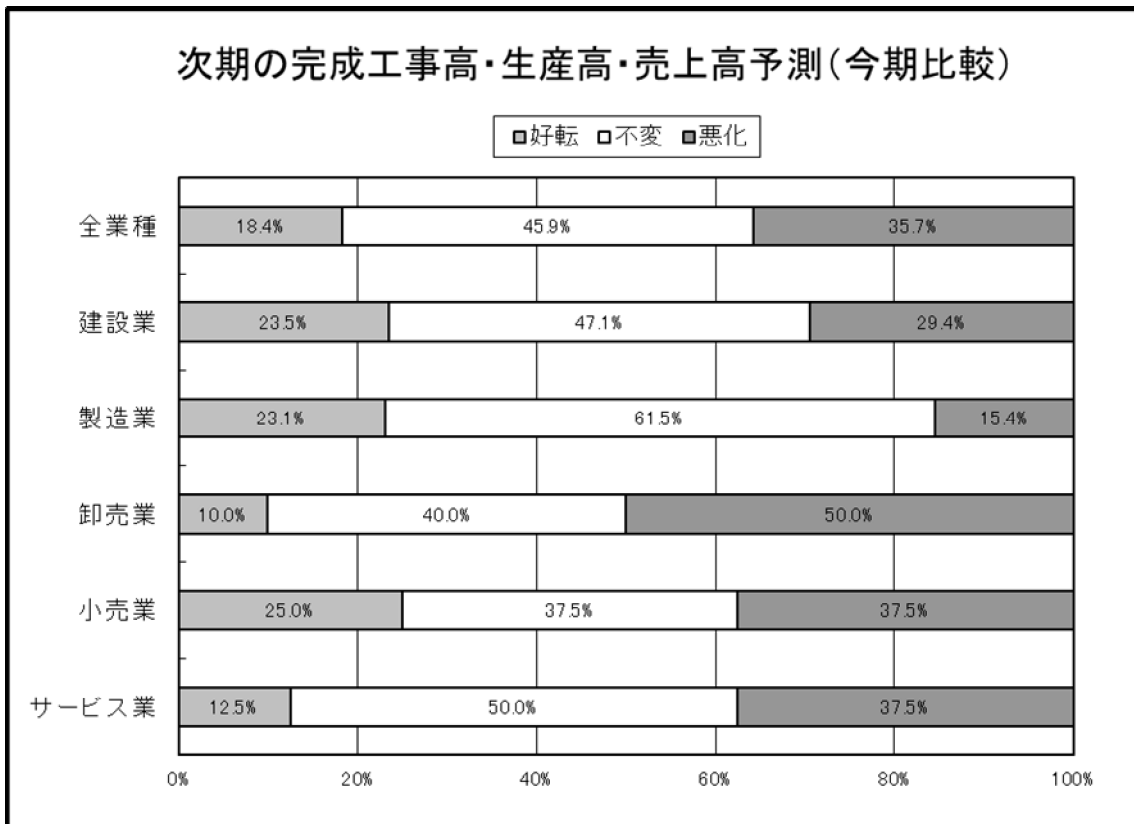
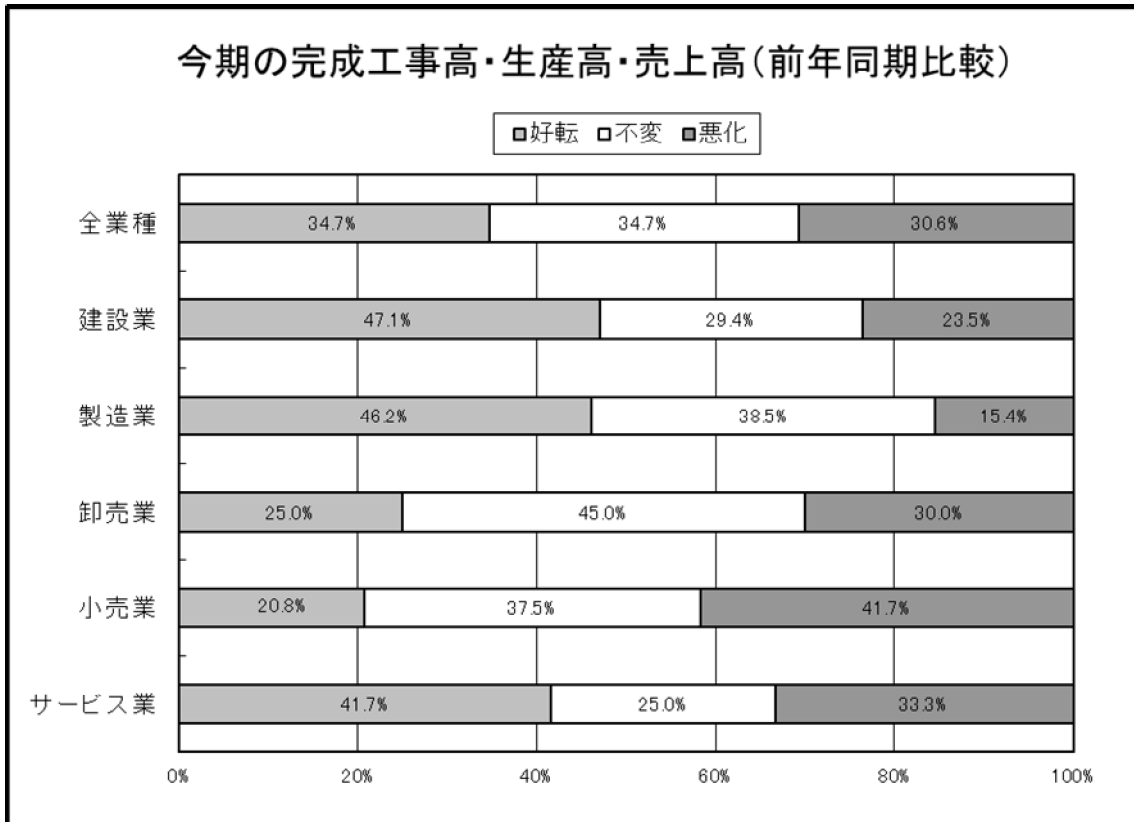
### 第3章 各判断項目回答割合

#### 3-1. 業況

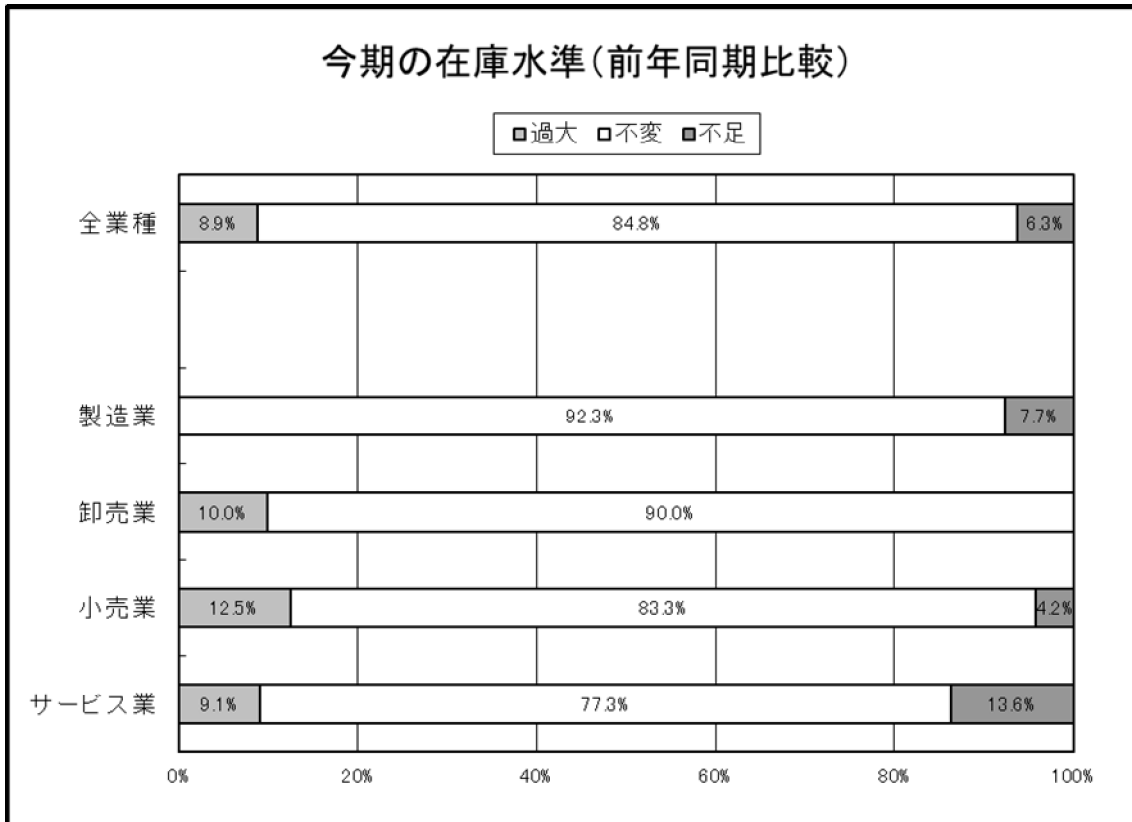




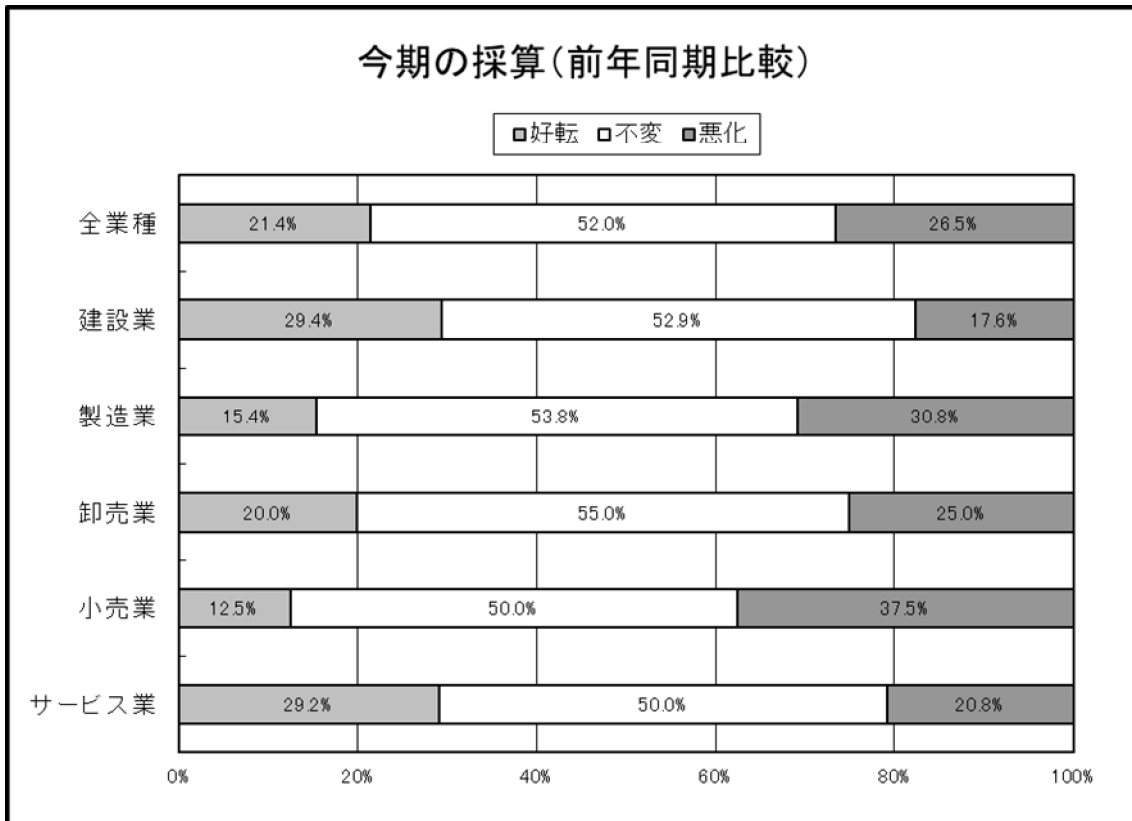
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



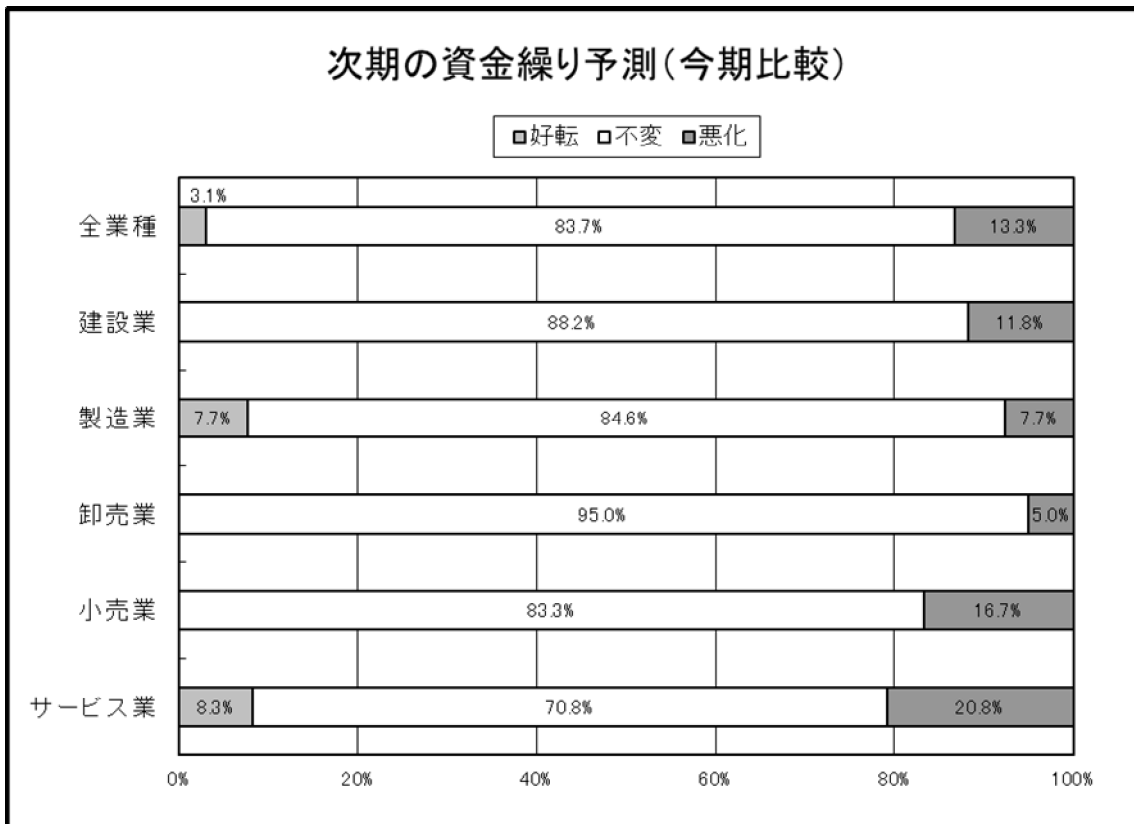
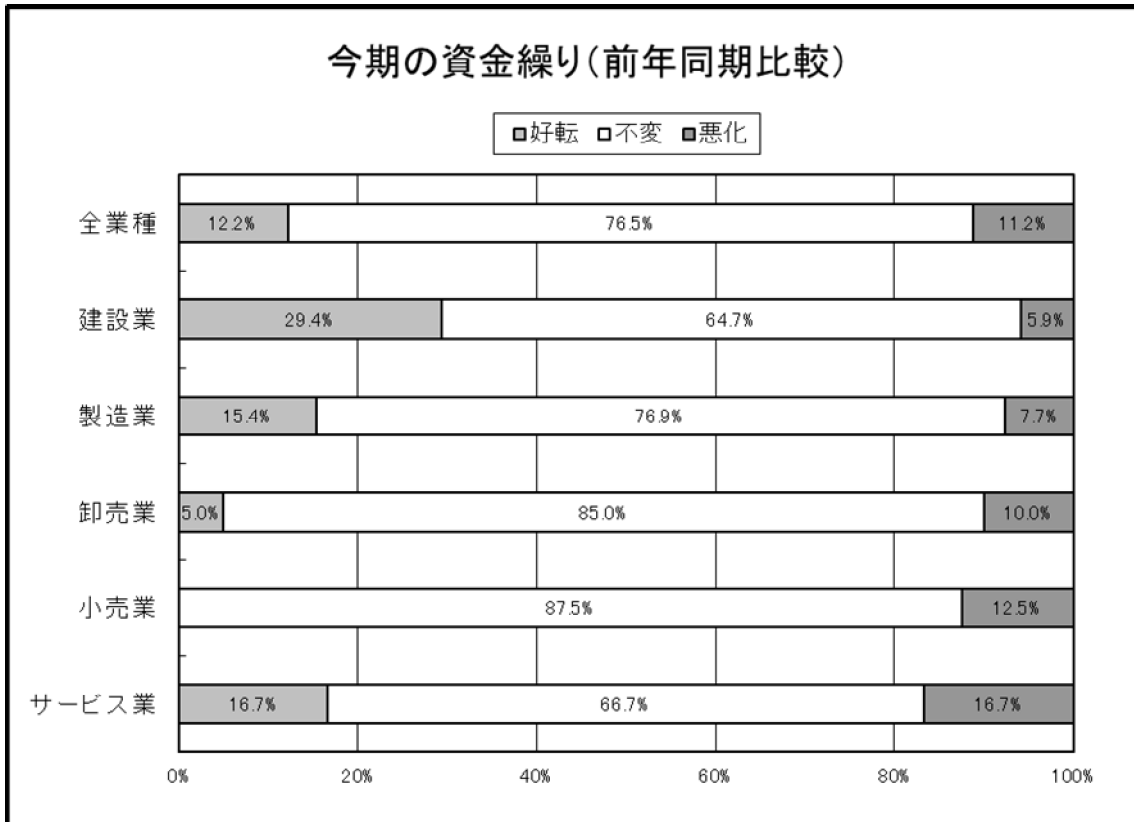
3-3. 在庫水準



3-4. 採算

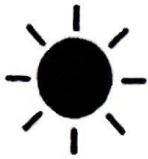






3-5. 資金繰り










## 第4章 景況天気図






















### 4-1. 記号説明















				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

### 4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 6.1	 ▲17.4
売 上	 4.1	 ▲17.3
採 算	 ▲5.1	
資金繰り	 1.0	 ▲10.2

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 41.1	 ▲5.9
	完成工事高	 23.6	 ▲5.9
	採算	 11.8	
	資金繰	 23.5	 ▲11.8
製造業	業況	 23.1	 0.0
	生産高	 30.8	 7.7
	採算	 ▲15.4	
	資金繰	 7.7	 0.0
卸売業	業況	 5.0	 ▲25.0
	売上高	 ▲5.0	 ▲40.0
	採算	 ▲5.0	
	資金繰	 ▲5.0	 ▲5.0

	判断項目	前年同月比	3ヶ月見通し
小 売 業	業 況	 ▲29.2	 ▲16.7
	売 上 高	 ▲20.9	 ▲12.5
	採 算	 ▲25.0	
	資 金 繰	 ▲12.5	 ▲16.7
サービス業	業 況	 8.3	 ▲29.2
	売 上 高	 8.4	 ▲25.0
	採 算	 8.4	
	資 金 繰	 0.0	 ▲12.5

## 第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	諸経費増	人件費増 売上の不振	/	同業者間の競合
製造業	諸経費増	売上の不振 同業者間の競合	/	人材不足	人件費増 得意先減少
卸売業	得意先減少	売上の不振 同業者間の競合	/	人材不足	諸経費増
小売業	得意先の減少	同業者間の競合	売上の不振	人材不足 諸経費増	/
サービス業	人材不足 同業者間の競合 諸経費増	/	/	得意先の減少	人件費増 売上の不振
合 計	人材不足	同業者間の競合 得意先の減少	/	諸経費増	売上の不振

## 第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。  
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	5件(29.4)	2件(15.4)	6件(30.0)	3件(12.5)	6件(25.0)	22件(22.4)
しない	12件(70.6)	11件(84.6)	14件(70.0)	21件(87.5)	18件(75.0)	76件(77.6)
合計	17件	13件	20件	24件	24件	98件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	-	-	1件	-	2件	3件
店舗	-	-	-	-	1件	1件
販売設備	-	-	2件	1件	-	3件
車輛	4件	-	3件	-	4件	11件
付帯設備	-	-	2件	2件	1件	5件
OA機器	-	1件	1件	-	1件	3件
福利厚生施設	-	-	-	-	-	-
その他	1件	2件	1件	1件	1件	6件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述は以下のとおり。

建設業：太陽光

製造業：レーザープリンター

小売業：店舗照明、暖房設備

サービス業：暖房設備



## 第7章 消費税引き上げが経営に与える影響

消費税の引き上げにが経営に与える影響について調査しました。(2つまで回答)

調査結果表は表3のとおり。また、調査票に記入いただいた事項を掲載いたします。

表3 業種別、規模別 消費税引き上げが経営に与える影響

影響項目	建設		製造		卸売		小売		サービス		小計		合計
	小	非	小	非	小	非	小	非	小	非	小	非	
売上が減少する	☆5	1	3	☆2	☆3	☆8	6	☆8	3	8	20	☆27	47(35.9)
利益が減少する	☆5	☆4	☆5	☆2	☆3	4	☆8	5	☆4	☆9	☆25	24	☆49(37.4)
経営に影響はない	0	0	0	1	2	0	0	0	2	1	4	2	6(4.6)
わからない	3	☆4	2	☆2	☆3	2	6	0	2	1	16	9	25(19.1)
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2	2	4(3.0)
小計	13	9	10	7	12	14	20	13	12	21	67	64	
合計	21		17		26		33		33		131		

※上記表の「小」＝「小規模企業」の略、「非」＝「非小規模企業」の略

※もっとも多い回答数に☆印をつけております。

※カッコ内はパーセントを示す。

### 消費税引き上げが経営に与える影響 記入事項

#### □小売業

- ・駆け込み的需要が今は多いが、来期からはその分がなくなるのでは・・・

#### □卸売業

- ・パソコンソフトの対応品バージョンアップに係る経費が意外と高かった。

#### □サービス業

- ・先のことは分からないが、価格を少しずつ上げようと思っています。8%よりも10%のことを考えて価格設定しよう・・・このままでいっても売り上げは変わらないと考えます。
- ・消費税の支払いが大変困難になる。
- ・材料費のコスト増 3%を全て消費者に(利用者)求められるか？
- ・一時的に売り上げは減少する その後は大きく影響がないのではと考えます。

## 第8章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・材料費が値上がりしているので、今後の売上に反映させられるかが不安。徐々に受注も減少するのではと心配しています。(建設業)
- ・作業員、特に技術者の不足が問題です。(建設業)
- ・原料の水揚量に伴う価格の変動に対応した経営が難しい。(製造業)
- ・札幌大手の地方への進出、用紙代の10月より10%値上げで経費増となる。(製造業)
- ・原料高、エネルギー(重油・電力)等により、利益が減少しており資金繰りにも影響する。(製造業)
- ・原油高による原料、資材、電気料金、時給等の値上げによる収益の悪化。(製造業)
- ・7月～9月については、春先からの天候不順と夏の少雨で農産物にかなりの影響が出ている。秋野菜についても不安定な要素がある。(卸売業)
- ・運賃の問題が重要課題。肥料業界だけでなく物流全体として、ガソリン等に関わる税制の改善をしないと、全ての業界の影響が大きいと思うので対応策を打ってほしい。
- ・日本人の旅行者減、お土産を買わない。(小売業)
- ・依然として中心市街地空洞化による客足鈍化。早急にラルズ跡地問題の解決策を求め、(サービス業)
- ・増税に関してお客様の買い控えが予想されます。正直なところまだ具体策はありませんが、商品価格に単純に上乘せするだけではお客様の販売意欲を減少させてしまうことは間違いありませんので、付加価値を見出し企業努力していきたいと考えます。(小売業)
- ・LPガスはオール電化の進化に押され、また老人はお子様と同居するなど大変厳しい中、自社はお客様を大切に何とか現状を維持しております。(小売業)
- ・①海外客(インバウンド)の誘致推進 もっと ②ビーチに期待、足代を減らしてその他に！  
③更に流氷観光のキャンペーンを！ ④網走ならではの「うまいものセット」紹介 ⑤土産品のより開発を！ ⑥地元(道内)客誘導作戦(会議)(サービス業)
- ・人材不足(サービス業)

- ・海外客は今後も増加すると思いますが、それに対する日本人客の嫌悪は否めません。(騒がしい、マナーが悪い等) 日本のマナーを失礼の無いやり方で教えていくことの必要性を感じております。(サービス業)
- ・消費税のことをあれこれ考えても、商売はしていかなければなりません。お店にあったヒット商品の開発、お客さんが喜ぶメニューを作っていかなければならないと思います。この価格変動が激しいときは仕入先を変えないでやっていくことが大事だと思います。一気に2～3度のイベントよりも、皆で平日にお客さんの来る町にしたいですね。